

鳳仙

発行
桐生山鳳仙寺
桐生市梅田町一丁目五八
電話(0277)311-1777
E-mail: info@hosenji.or.jp

盂蘭盆会

夏の暑さを忘れ、夜のすがすがしい風に涼みながら、一家がそろって迎え火をかこみ、亡くなった先祖様や、お友だちのことをなつかしむのも、お盆の楽しみの一つではないでしょうか。

こう思うと、今のようにな住み良い街になるまでには、多くの先祖さま方が、どんなに苦勞なされたかと、思わずにはいられなくなるはずですよ。

慕古心

なげなく暮らしている、この街、この村も大昔からこんな姿ではなく、大きな木が茂っていた森が、あるいは、川が流れていたのか、大きな沼だったかもしれません。

慕古心について 今回の七百五十回忌大遠忌には「慕古心」(もこしん)というテーマがあります。これは古仏を慕う私たちの心そのものであります。

皆様のご協力によりまして無事茶室開きを済ませました。ホッと致しました。今日の頃は、聴松庵をひとりでも多くの方々に愛していただきたいと思います。又、多目的という事でお寺の方でもいろいろと考へております。八月十三日、八月十六日お盆の期間中お墓参

き方を求め、生きることを見つめる姿を養っていただきたいと思います。お釈迦さまのみ教えも、道元禅師さまのみ教えも私たちが心豊かに生きるための指針として脈々と受け継がれて参つたものであります。皆様のご先祖さまも一生懸命に仏さまのみ教えを聞き、行い、守つてこられました。

開かれた道元禅師さまの人となりをお話し申し上げたいと思います。道元禅師さまは正治二年(一一二〇)一月二十六日京都でお生まれになりました。幼少時に世の無常を感じて十三歳で比叡山に登り出家入門の得度をなされました。そして二十四歳の時に中国へ真実の仏法を求めて旅立ち、天童山の如浄禅師さまのご指導のもと正しい仏法を身につけられたのです。時に道元禅師さまは二十六歳でございました。その後、安貞元年(一一二七)秋に日本に帰国なされた道元禅師さまは、京都の宇治に興聖寺を建てられ、寛元二年(一一二八)

二四三)に四十四歳の時に越前の国に永平寺をお開きになられたのです。この間多くの弟子を育てるとともに、「普勸坐禅儀」「正法眼蔵」を始め数々のお示しを残されています。建長五年(一一五三)永平寺を二代孤雲懐奘禅師さまに譲られ、病氣療養のため京都に行かれた道元禅師さまは、その年九月二十九日享年五十四歳という若さで入滅なされました。京都において茶毘にふされご遺骨になつて永平寺に帰られたのでございます。道元禅師さまのご遺骨は、今も承陽殿と呼ばれる建物の中にお祀りいたしております。

御詠歌だより

八月は、夏休みです。九月から又、皆さんと詠讃歌を通して仲良

くらしをいたしましょう。詠讃歌は、仏教音楽であります。法悦、感謝、報恩の念をもって、心清浄、身端正にお唱えしなければなりません。そして信仰を離れてなりましたものではありません。月二回お寺で皆さんと一緒に自分自身のます研鑽に務めるべきこの時間を大切に詠讃歌をたのしくお唱え致しましょう。第二、第四木曜日(三時)まで鳳仙寺石染閣(檀信館)に行きます。

婦人会だより

茶室開きが行われました。

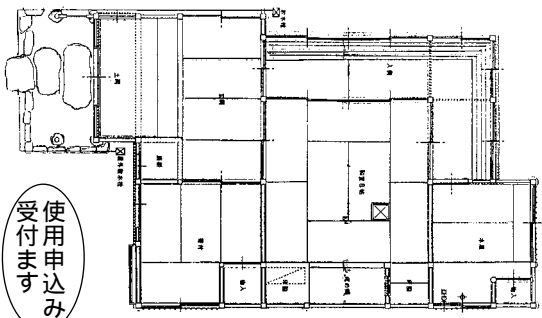


(5月2日 お茶会のスナップ写真)

皆様の御協力によりまして無事茶室開きを済ませました。ホッと致しました。今日の頃は、聴松庵をひとりでも多くの方々に愛していただきたいと思います。又、多目的という事でお寺の方でもいろいろと考へております。八月十三日、八月十六日お盆の期間中お墓参



りの際にはどうぞご自由に見学していただきたいと思います。



永代供養塔



永代供養費 13万円より

永代供養

お墓の供養祭祀の継承者がない方、またご事情により、将来お墓を継承できない方のため当霊園が責任をもって、永代にわたりご供養し、おまもりいたします。お子様のいないご夫婦や生涯独身でいられる方々に、やすらぎとご安心をお約束します。

一区画 30万円より (1坪・3.3㎡)

一般墓地

緑の林に囲まれた落ち着いた雰囲気です。ゆったりとした南向き。お車でお参りできます。



団体参拝旅行報告



高祖道元前肢禪師750回大遠忌団参研修旅行 平成14年5月16日~18日

永平寺にて
葉位 キウ
うっそうたる杉木立の中、莊嚴なる大本山永平寺の門前に立った時の感動は、なると言葉に表わしてよいか私のいつかご参拝をとの願望が叶えられたのです。それも道元禪師様七百五十年の大遠忌に來られた事は、何とありがたいな事か、苔もその日の雨のお蔭できれいな緑となり、

全山緑一色、心の洗われる素晴らしい。この度の大遠忌のテーマである「慕古心」とは、お釈迦様から道元禪師様に至る間の尊い教えを伝えてこられた修行の方々を慕い、自分もそれに習い、正しいお釈迦様の教えに学び生きようとの事と知りました。

俗事にまみれ、多事にふり廻されて毎日を生活して居る私にとりまして、信仰心のなんたるか、心のゆたかさは、々々考える良い時を与えて頂きました。

新しい方々と知り合えたり、新緑の山々の美しさを満喫出来、充実した旅をさせて頂きまして感謝致します。

寺報を利用して報告させて頂きます。維持会費（鳳仙寺檀家の会費）は年額、一口三〇〇〇円となっており、院号戒名の付いている家は、一口以上のお願いとなっております。

鳳仙寺護持会 会計報告

〔平成13年度・鳳仙寺護持会・会計報告書〕 平成13年4月1日～平成14年3月31日

収入の部		支出の部	
前年度繰越金	7 424 844	本山宗費	925 830
平成12年護持会費	2 893 620	火災保険料	46 690
銀行利息入金	2 359	下水道保守管理費	83,100
		銀行手数料	1,155
		婦人会補助金	40 000
		県研修費(予修法要)	30 000
		合同新年会補助金	19 000
		新区新年会費	30 000
		慶弔費(花輪代)	13 700
		修理費(たみみ修理)	471 870
		工事費(電気工事費)	797,100
		工事費(参道修理)	2,110 000
		(支出合計)	(4 568 445)
		次年度繰越金	5 752 378
合計	10 320 823	合計	10 320 823

(繰越内訳 = 普通預金4 742 657円・定期預金1 009 721円)
上記の通りご報告申し上げます。

平成14年4月29日 鳳仙寺護持会 総代 下山 晴夫
会計 池田伊佐男

摩尼車寄付のお願い

境内に、この程写真の摩二車を設置することを発願致しました。回転部分には、お経、般若心経が刻まれており、一度廻すと一回お経を読んだ功德があります。上部には半鐘があり叩くと美しい音色が響きます。

総工費八十万円の予定です。ので、一口5万円にて、十六名程度の寄付者を募集いたします。

寄付者は、開眼式にご招待し、ご寄付感謝状と記念品を贈呈し、お名前がマニ車の本体に刻字致します。

一人は一代、名は末代と申しますが永久信仰のしるしとしていかがでしょうか。申し込みは、鳳仙寺まで 電話〇二七七 一三二一 一七七七



お寺にかかる費用

お寺から、寺報に書くのは、かきづらいののですが、良く聞かれる事なので率直に書かせていただきます。

護持会費
(鳳仙寺の会費)
鳳仙寺の檀家の会で、総代さん世話人さんが役員をされています。会費は、護持会会計さんが管理します。年額

一口三〇〇〇円です。墓地掃除料、境内墓地、鳳仙寺の新墓地、人口の墓地の本堂裏の墓地の方々のみ掃除料を頂いております。年間に3回掃除をして年額三〇〇〇円です。

(注) 堤の東山墓地、岩崎観音堂墓地個人墓地などは、直接その管理者にお払い下さい。

付け届け お盆、

桐生仏教会主催団体参拝
〔平成14年度企画〕

平成14年11月2日(土曜日) 日曜日

旅行代金 一人様 ¥10,000

申込締切 10月19日(土曜日)

桐生市役所前 5:40(集合) 6:00(出発)

旅行申込み書 額収証 ¥10,000

平成十四年度年回表

一周忌	平成十三年
三回忌	平成十二年
七回忌	平成八年
十三回忌	平成二年
十七回忌	昭和六十一年
二十二回忌	昭和五十五年
二十五回忌	昭和五十三年
二十七回忌	昭和五十一年
三十三回忌	昭和四十五年
三十七回忌	昭和四十一年
四十三回忌	昭和三十五年
四十七回忌	昭和三十一年
五十回忌	昭和二十八年
百回忌	明治三十六年

日曜祝日の御法事お申込みはお早めにお願ひします。

お寺の行事

お彼岸、お正月やその他の時に寺参りをしながら仏様に上げる布施をお願いしております。

お施食会
(先祖の供養)
各家の先祖供養法要を毎年四月二十九日に行なっております。古い先祖は中々供養出来ないで当日市内のお寺さんに集まっていたり、大供養を行います。お供養料三〇〇〇円、お塔婆代、記念品、三尺坊お祭り、「鳳仙寺秋祭り」(火伏せの仏様) 毎年十月十六日にお祭りをしています。火ノ火災や災難を防ぐとされています。お電話での申込みも受けております。お札 二、〇〇〇円 厄除け 毎年正月には、厄除けを受付けております。お電話で予約してお受け付けております。お札をお送りすることもできます。